

認証基準②: 習熟度チェック

1人ひとりの職員のユマニチュードに対する習熟度を自己評価するものであり、学びと実践のための具体的な指針となるものです

レベル	到達目標	チェック内容	チェック方法	学習方法
初級 (理解)	ユマニチュードを理解している	主に、基本的な技術や哲学、望ましい行動など、ユマニチュードをの実践者が当然知っておくべき知識を問う問題とする。「行動の根拠を理解して説明できる」については解釈が必要な問題になるが、基本的知識を理解していれば類推できるものとする。	5原則、生活労働憲章 / 推進委員会の役割と機能 / ケアする人とは何か、人とは何か、第1,2,3の誕生(哲学) / 4つの柱(Basic) / 5つのステップ(Basic) / 評価保清の概念 / 行動の根拠を理解して説明できる	筆記 (オンライン選択肢形式)
中級 (深い理解と実践)	ユマニチュードを実践できる相当の理解をしている	初級の形式に加え、より上位の概念を問う問題や、技術の組み合わせが必要な問題、知識をもとに解釈して解答する問題を含む。暗記すれば回答できる問題ではなく、設問から場面を想定したり、事例を読んで何が問われているか把握する問題など。	初級の内容に加えて、 5原則、生活労働憲章、哲学(Advanced) / 4つの柱(Advanced) / 5つのステップ(Advanced) / 評価保清 / 認知症 / BPSD / 記憶の機能(メカニズム) / パーキンソン病とケアの対応方法 / アルツハイマー型認知症における記憶の仕組みの理解 / アルツハイマー型認知症のケアの対応方法	筆記 (オンライン選択肢形式)
上級 (高いレベルでの実践)	施設でリーダーシップをとることができる相当の理解をしている	初級、中級の形式に加え、原理を問う問題や、状況の分析や評価、解決が必要となる問題を含む。設問だけでなく、選択肢の意味についても解釈する必要がある。設問から場面を想定したり、事例を読んで何が問われているか把握することに加え、選択肢の内容や違いについても考えないと解答できない。	初級中級の内容に加えて、 5原則、生活労働憲章、哲学(Advanced) / 職業人とは / 強制ケアがもたらすもの / 実技 / 行動を分析して、明確にユマニチュードの理論に基づき根拠を説明できる / 認証制度・認証施設で取り組むケアの理解 / 現場での実践	筆記 (オンライン選択肢形式) 実技 (オンライン又は現場での視察)

研修受講を推奨

正しい理解と技術を習得するためには、受講をお勧めしますが、必須とはしません

認証基準②: 習熟度チェック

習熟度チェックのサンプル

- レベル: 初級(理解)
- 到達目標: ユマニチュードを理解している
- チェック内容: 4つの柱 (Basic)

Q. ユマニチュードにおける「見る」技術について、誤っているものを選択してください。

A.

- 正面
- 垂直
- 長く
- 近く

- オンラインで職員1人ひとりが習熟度チェックを受けることができます